

第4回理事会 報告書

日時：2014年11月8日(土) 13:00～18:00

場所：ホテルメトロザ 2 1 大阪府大阪市中央区宗右衛門町 2 - 1 3

出席者：長谷川(青森)・井上(北海道)・渡辺(埼玉)・山城(京都)・上原(香川)・松田(東京)
大聖(富山)・中辻(宮城)・多和田(岐阜)・伊藤(三重)・内田(大阪)・大塚(兵庫)
長谷川(島根)・稲森(鹿児島) 以上14名

欠席者：平賀(岩手) 以上1名

オブザーバー：佐藤様(㈱鋼構造出版)・隈元様(㈱産業新聞社)・阿部様(旭化成建材㈱)
九州BC馬場実行委員長(佐賀) 以上4名

○開会

○出席者の確認

○会長挨拶

皆様、本日は遠路よりご参集頂きましてありがとうございます。現在、地方格差はあるが業界として山積みは高く、加工単価は各地域において上がってきている、反して伸び悩んでいる等あると思われま。とは言え、比較的好調と言えるのではないのでしょうか。安定した今であるからこそ、業務の安全面、経営の安全面を盤石なものとする時期であると思います。他方、全青会活動は4月より今期の体制が始まり、今月も親会である全構協との連携事業が2回目として開催されます。全青会としても意見を言える立場として参加していきます。我々全青会も親会とベクトルを合わせて注力していくことが効果的かつ大切であると思います。各WGについては、定期的にWG会を開催するなどしっかりと運営されていることに安心しております。本日の理事会は来年開催の全国大会の骨格から肉付けが終わり、それらを精査していく段階へ入ってきております。また、全国大会の馬場実行委員長も遠路より遥々お越しいただいております。より良い全国大会にするため、メリハリのある理事会にするため、皆様の活発で忌憚のない意見をお願い致します。それでは本日、最後まで宜しくお願いいたします。

○各地助成金事

近畿ブロックより提出された助成金申請を協議。承認された。
九州ブロックより提出された助成金申請を協議。承認された。
中部ブロックより提出された助成金報告を協議。承認された。
四国ブロックより提出された助成金報告を協議。承認された。

まだ、各地助成金事業申請・助成金事業報告がなされていないブロックについては、各ブロックにおい

○ワーキンググループ事業申請

●技術ワーキンググループより事業助成金申請を協議。承認された。
●経営ワーキンググループより自社分析(財務スコアリングシート：以下FSS)の作成、活用のご案内、FSSの配布について申請を協議。承認された。
・今年度は会長MLより配布し、FSSに記入をして頂く。よく分からない方は自社の担当税理士に記入を依頼すればよい。来年度はそれを基に分からない点等を洗い出し講習会

を開催していきたい。各ブロック理事はブロックへこの旨を周知する。この件に関して各理事に於いて不明な点は上原副会長へ確認する。

○全国大会通常総会、会長会議の役割分担について以下の通り協議決定された。

●通常総会役割

- ・ 総合司会 : 内田理事
- ・ 議長 : 稲森理事
- ・ 開会の辞 : 長谷川理事
- ・ 議事録作成人 : 平賀理事
- ・ 署名人 : 多和田理事 伊藤理事
- ・ 事業報告 : 井上副会長
- ・ 収支決算報告 : 松田会計理事
- ・ 監査報告 : 大聖監事
- ・ 事業計画 : 上原副会長
- ・ 収支予算(案) : 松田会計理事
- ・ 閉会の辞 : 大塚理事

●会長会議役割

- ・ 司会 : 中辻理事
- ・ 基調講演謝辞 : 山城副会長

・ 会長会議運営委員長 : 内田理事

○全構協技術委員会への参加報告

●スキルアップワーキンググループについて上原副会長より報告があった。

・ これまで後継経営者を対象とした育成をテーマとして全構協と共に取り組み、一区切りが着いたが、今後は技術、技能について中間管理職を対象にスキルアップを図り、次世代に継承していく施策を検討していく。

・ 全構協よりスキルアップWGにおいて「何を学びたいか」検討の依頼があった。次回12月開催のWG会の時に検討の内容挙げる。

・ (上記について学びたい点を挙げた)→質疑応答の書き方、打ち合わせ内容とコストの関係性、打合せ・交渉のポイント(チェックシート等)

・ 11月末までに各ブロックにおいて「何を学びたいか」抽出し、グーグルフォルダへ提示する。

・ スキルアップワーキンググループは各ブロックに於いて開催される予定。

○全国大会会長会議の内容及び形式

・ 受注単価情報の共有と鉄骨工事の内訳内容の把握のため、ひな形を作成する。

・ 中辻理事がアンケートひな形を用意される。

・ 1物件モデルケースを挙げ、それに対してアンケート形式で単価を記載して頂く。

・ 各都道府県会長は自分の都道府県の受注単価の様相を把握して平均を事前に掴んでおいて頂く。

・ 会長会議の内容は会員へ情報として共有される。

・ 会長会議は受注単価の共有を目的とする。

・ 臨時会長会議ワーキンググループを立ち上げ、運営委員長に内田理事が任命された。

○全国大会(沖縄大会)進捗状況報告

~馬場実行委員長、稲森理事より以下の通り進捗状況が報告された。~

●事業計画(案)

・ 開始時刻等スケジュールの変更が報告された。

- ・ 大会全容の進行と概要の説明がなされた。
 - ・ 2次会に参加する会員を那覇市松山までバスで送迎する予定である。(120名位)
 - ・ 九州ブロックの運営側会員は全員「かりゆし」を着用する。
 - ・ 予算の詳細が報告された。(現時点赤字の補填方法も含め)
 - ・ 記念講演の冒頭に講演者への予備知識を持って頂く為にDVDを上映する。
 - ・ 懇親会1部に出演の比花知春さんは飲酒運転撲滅活動を積極的に支援されており、CDの売上の半額を関係団体へ寄付されていることから、今回、その意志に賛同する意味合いから採用した。
 - ・ 沖縄観光コンベンションビューロへ補助、補助金、貸切バスの掛け合いをしている。
 - ・ ミス沖縄の派遣は確定している。
 - ・ 会場レイアウトについて報告がされた。
- ～馬場実行委員長、稲森理事より報告された。～

●予備登録(案)

- ・ 登録についてフローチャートを基に説明がなされた。
- ・ 3役会審議11/23(日)以降、予備登録が開始される。
- ・ 有志ゴルフコンペは日曜日に開催される。

●その他

- ・ 総会時の各都道府県の会員数の確認はこれまでと同様、集計上の都合により代表者が名刺に記載し提出して頂く。(松田会計理事より様々な確認事項があるため)
- ・ PRのプラ板等は作成する予定である。

●全国大会における議題

- ・ 懇親会1部のコンサートは飲酒運転撲滅活動を支援するものである。
- ・ 総会は45分で問題はない。
- ・ 懇親会1部でのアルコール提供はしない。
- ・ 理事と来賓は当地の正装である「かりゆし」を着用する。(ズボンはスラックス)
- ・ 全構協来賓の出席関連は理事会にてリストを作成し、実行委員会へ連絡する。
- ・ 現時点の予備登録の最終取りまとめ期日を12/5(金)、本登録の取りまとめ期日を2/10(火)とする。
- ・ 登録会員の吸い上げ催促は各ブロック長へ打診する。(ブロック長=集計係)
- ・ ゴルフ会は本大会の予算、事業と分離して進行していく。
- ・ 2次会、ゴルフ会のチラシは配布しない。(必要事項は文章で作成する。)
- ・ コンサート=チャリティライブは文章で飲酒運転撲滅活動をアピールする。
- ・ サンゴ募金の実施は問題ない。
- ・ 懇親会では沖縄の流儀に合わせて最後に乾杯をする進行とする。

○各WGの討議及び報告は時間の都合により割愛され、後日ネット会議等を利用して各WGで行う。

○長谷川会長より

全構協との懇談会が開催された。全構協の委員会等へ協同して参加していく方針である。情報のやり取りが円滑にいく関係が現在築かれている。

●旭化成建材(株)阿部様

- ・ フリードーナツ支援金についてより活性化するためにキャンペーン用紙を作成した。
- ・ ファブラックス、イーカプラも1件成約につき5,000円を支援する。
- ・ 岡部(株)さんと2者購買が可能である。
- ・ イージーアークタブについては、やはり構造設計者の方々に良い点を理解して頂く事が大切である。高知県等では官庁物件においても採用が叶うようになってきている。

・全構協青年部会とも引き続きお互いの長所を生かし共栄していきたいと考えている。

～長谷川会長より～

○ローバル工法のメリットについて、技能者と管理者の兼用資格証となっている。
全構協青年部会からの講習会等の依頼があれば、フットワーク良く対応してくれる。

～松田会計理事より～

○各会員様にメリットのあるEMGについても引き続きPRして頂きたい。

○(株)鋼構造出版 佐藤様、(株)産業新聞社 隈元様 より御挨拶を頂戴した。

○閉会

次回理事会の開催

日時 平成27年1月17日(土) 13:00～

場所 東京都 於) 旭化成建材(株)本社 神保町三井ビルディング